

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1493400079	事業の開始年月日	平成18年12月1日	
		指定年月日	平成24年12月1日	
法人名	株式会社ウイズネット			
事業所名	グループホームみんなの家・横浜上瀬谷			
所在地	(〒246-0006) 神奈川県横浜市瀬谷区上瀬谷町56-4			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名	
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	18名	
		ユニット数	2ユニット	
自己評価作成日	平成26年10月29日	評価結果 市町村受理日	平成27年4月3日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>1年を通して、季節にちなんだ行事を企画しています。又、ボランティアの方々の慰問があり、中でも演奏会では一緒に歌を唄ったりするので、ご利用者様も楽しまれています。年4回地域懇談会を開催しています。地域の方にも気兼ねなくお越しいただけるよう行事への参加のお声を掛けさせていただいています。</p>

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部		
所在地	神奈川県横浜市西区南浅間町8-22-207		
訪問調査日	平成26年11月18日	評価機関 評価決定日	平成26年12月24日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>【事業所の優れている点】 ◇チームで行うケア ・職員は利用者毎に何が必要であるかを把握しており、ユニット会議や職員同士で話し合いを行い、職員全員一丸となって偏りのないケアを行うよう努めている。 ・全員が参加する内部研修で嘔吐物処理の実技演習をし、安全対策委員会で身体拘束について事例を検討するなど、全員が介護技術の向上に努めている。 ◇定期的な家族会の開催 ・2か月毎に家族会を開催し利用者と一緒に食事会を行っている。食事会は利用者の好みを反映した特別食となっており、利用者が楽しみにしている。家族にとって利用者の様子を実感する良い機会となっている。</p> <p>【事業所が工夫している点】 ◇管理者と職員のコミュニケーションの充実 ・管理者は折に触れて職員と会話をして情報の共有、お互いの信頼感の醸成とストレスが蓄積しないように努め、事業所内がいつも明るい雰囲気にも包まれるようにしている。</p>

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホームみんなの家・横浜上瀬谷
ユニット名	1 U

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「笑顔・気配り・安心」を理念とし会議等で確認し業務に反映できるように努めている。	・理念は掲示されており、職員は1日1回は利用者の笑顔を見る、言いにくそうなことを利用者の様子から察し気配りをする、利用者が一人であることの不安解消のため職員が側に寄り添う等を日常のケアで行って、理念の実践をしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入している。 ホームで行事を開催する際は、チラシ等作成し近隣住民に配布している。 七夕で使用している笹は、近所の方からいただいている。	・地域の行事に事業所の駐車場を開放し、自治会のゴミ集めに利用者と一緒に参加している。八幡神社の夏祭りでは子ども神輿が4年ぶりに事業所に立ち寄り、利用者との交流の場を持つことができた。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ご利用者様と散歩に出掛けた時は、挨拶を必ずしている。 ホームに気兼ねなく立ち寄れるような環境作りに努めています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回会議を開催している。地域との関わりが難しい所もあり、意見交換をさせていただいている。 その結果、今年は約4年ぶりに子供神輿がホームにきました。	・会議メンバーの民生委員から、地域の行事の情報等、地域との関わり方について助言を貰っている。流しソーメンでブドウ、トマト等をソーメンと一緒に流す方法があることを教わり、9月の家族会で実施して利用者は大変喜んだ。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	区役所や地域包括に、ご利用者様のご相談等させていただく事があります。	・瀬谷区役所の保護課職員が事業所を訪問し、また、利用者の高齢化に伴う給付変更手続きについて障害高齢福祉課職員から助言を得るなど区役所職員と密に連携している。 ・地域包括支援センター職員に、利用者家族に関する相談をしている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束ゼロ推進を掲示しています。 会社にて研修を行っています。又、ホーム内の会議にて勉強会を開催しています。	・身体拘束について全体会議で資料を配布して話し合い、意識を共有している。 ・居室担当職員がチェック表を3か月ごとに作成し、管理者が見て、疑問に思ったときは職員に質問し、何気ない行動や言葉が拘束に当たることがあると指導している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	会社にて研修を行っています。又、ホーム内の会議にて勉強会を開催しています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	勉強会を行っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	説明時その都度確認をさせていただきながら契約を行っています。又、入居後も疑問等あればその都度対応させていただいています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	2ヶ月に1回の家族会やご面会の際、意見や要望を伺っています。又、玄関に意見箱を設置しています。対応出来る事については、迅速に対応させていただいています。	・家族会のときに、利用者と共に食事会を行って、家族に利用者の様子を実感してもらっている。その時の職員の食事介助の進め方が早すぎるのではないかと意見が出て、全体会議で取り上げ、利用者のペースを守ることを徹底することを確認した。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議や個人面談を行い意見等を聞き、みんなで一緒に考え解決するように努めています。	・職員会議では、提議された問題を全員で検討し改善につなげている。 靴下の洗濯について、洗剤の漬け方や洗濯の時間帯の手順を決めた。 ・管理者は、個人面談で職員が話しやすい雰囲気になるように配慮をしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	面談をし管理者は面談結果を代表者に報告し給料に反映させています。ご利用者様の重度化もあり業務の見直しを行う等環境整備を行っています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修に参加出来るように勤務調整を行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	同法人との交流で情報交換をしています。又、同業者の主催する研修等にも参加出来るようにしています。管理者は、瀬谷区にある地域密着型サービス事業所連絡会に年4回参加している。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前事前調査でご自宅等に訪問し困っている事、不安な事等を聞き取り安心して過ごせるよう関係作りに努めています。個々の要望に可能な限り応えるようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	何かあればいつでもご連絡をいただけるように伝えています。又、必要に応じ話し合いの場を設けています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	今一番必要としている支援に対しお話しを伺い、サービスが必要な場合には、できるだけ支援させていただきます。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	安心して生活ができる環境作りを行い、ご利用者の気持ち・意思を尊重し自然体で生活ができる環境作りに努めています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	手紙や電話、面会等でお互いの情報を共有しホームでのイベント等に参加していただいている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様の了解があればご面会にきていただけるようお伝えしています。又、ご希望があれば電話で話したり手紙を書く等、できる環境を作っています。	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメント表で、利用者の家族・出身地等を把握し、利用者との会話の中でさりげなく質問をし、利用者から思い出を引き出している。 ・バスやタクシーを使って、行き慣れたデパートで買い物をしたり、外食に出かける利用者がある。 	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	行事やレクリエーションを行ったり、みんなでできる事を提供したりし関わり合える環境作りに努めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了時でも、必要に応じ今後の生活に必要な情報提供や相談を受けたりしています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	会話の中から思いを引き出し、希望・意思を把握するようにしています。その後、ご家族様とご利用者様との話し合いの場を設けています。	・利用者との会話の中から思いを引き出している。特に入浴時や夜のゆっくりした時間帯には、向かい合って話をしている。 ・表現困難者については仕草や表情で思いを汲み取り、また、家族からも情報を得て思いを把握している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前事前調査での聞き取りや関わりの中で、情報を伺い職員と共有しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活記録、健康記録等ご利用者様の状態を把握し、一人一人のペースに合った生活環境作りをしています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族様とご利用者様のご意向を伺い、職員とカンファレンス開催後、介護計画書を作成しています。必要時、主治医、看護婦、薬剤師等と話しをしています。	・職員は利用者にとって何が必要であるかを把握しており、更新時に家族の意見を入れ、全員で話し合って介護計画を作成している。 ・介護計画の援助内容に沿って、利用者の生活記録を記入し、モニタリングをしている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ご利用者様個人の申し送りを作成し、職員同士が共有し反映させています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族様やご利用者様からの希望や要望等に対し、できる限り対応し外出等の個別対応も行っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	自治会に加入しています。 地域で生活しているボランティアや理美容、移動販売の訪問が定期的にあります。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご家族様にご希望されている医療機関へ受診される方もいます。 又、ご利用者様の状況に合った医療機関での診察を支援しています。	・家族の了承を得て、協力医と契約している。内科医と歯科医が月2回往診し、歯科衛生士は週1回口腔ケア指導をしている。 ・定期的な通院は家族が付き添いを行っているが、やむを得ない場合は職員が同伴する。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携看護師が週1回勤務され、ご利用者様の状態を把握して下さっている。必要に応じ主治医に連絡をとり相談を下さっています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	早期退院が出来るように医療関係者やご家族様と連絡をまめに取り替えています。退院後も安心して生活をして頂ける様に医療関係者と連携をとり対応出来る体制作りを努めています		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に説明をし、ご家族様の希望を伺い、医療、職員、ご家族様とひとつのチームとなり支援しています	<ul style="list-style-type: none"> ・重度化した場合や看取りについて事業所の指針があり、入居時に家族に説明をしている。 ・看取りは主治医の意見によるが、家族の協力が必要なこと、事業所ができる範囲内で支援することを家族に納得してもらっている。 	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルを基に対応。 地域の消防署の協力の元、応急救護の訓練を行っています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回避難訓練を実施しています。その内1回は、夜間想定避難訓練とし、地域の方や自治会の方に参加していただき連携をとれる体制作りをしています。その他消防署の方と救急要請時対応訓練をしています。	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練を年2回行っている。中瀬谷消防署の要請で救急要請対応訓練を行い、心臓マッサージやAEDの使い方の訓練を行った。 ・災害備蓄品はご飯、水、缶詰め、オムツ等を3日分用意している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・火災を想定した避難訓練の他に、地震を想定した訓練の検討が望まれます。 ・備品リストの作成がありませんので、リスト化が望まれます。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	生活歴、既往歴に配慮し、ご利用者様のペースに合わせた声掛けを心掛けています。	・アセスメントに目を通し、個々の生活歴を把握の上、その人にあった言葉かけをしている。 ・一人ひとりの人格を尊重し、常にコミュニケーションを取り、何を望んでいるかを察知し、一日一回は笑顔が見られるように心掛けている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご利用者様が、何を望んでいるかを日々の関わりの中から引き出し自己決定出来るよう支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者様の生活スタイルを大切にし、伝えやすい環境を作っています。可能な限りご利用者様のペースに対応出来る勤務体制を作成しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	月1回、地域の美容室の方に来ていただき、ご利用者様のご希望を伝え散髪をしていただいています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の盛り付け、片付け等を職員と一緒にこなしています。又、職員と一緒に食事をします。	・テーブル拭きや盛り付けなど残存能力を活かしながら、できることを職員と一緒にしている。 ・入居者に応じた食事形態をとり、介助が必要な人にはその人のペースに合わせてながら食事を楽しめるように職員が支援している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人一人に合った食事形態を提供しています。食事量、水分量は1日を通じて確認をしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	歯科医師、歯科衛生士の指導の元、毎食後の口腔ケアの声掛けをしています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンを把握し、ご利用者様一人一人に合った排泄介助をしています。	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員が個々の排泄パターンを把握し、情報を共有している。水分摂取後はとくに留意し、排泄の失敗回避につなげている。 ・入院中オムツを使用していた利用者が退院後布パンツに改善した事例がある。 	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分量、食事量を把握し、適度な運動の声掛け等行っています。医療関係者に報告し指示をいただいています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	ご利用者様のご希望を出来るだけ考慮し入浴をして頂いています。又、入浴を拒む方に対しては、安心して入浴していただける様工夫しています。	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴を拒む人も週2,3回は入るように心掛けている。ときには家族が面会の折、声をかけてもらったりしながら入浴に導いている。 ・湯温は利用者個人に対応して調節している。入浴中は利用者とは話をし入浴が楽しめる支援をしている。 	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人一人の生活リズムを大切に、眠れない場合は、一緒に過ごしたりし安心出来る環境作りをしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ご利用様が、どんな薬を服用しているかすぐに把握出来るように薬剤情報のファイルを作成しています。又、薬剤師が薬を届けて下さる時は、指導を受けています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	無理のない範囲で職員と共に出来る事を行っていただいています。又、イベント等の企画をし楽しみを持つ事、気分転換が出来るようにしていただいています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご利用様の体調等を確認の上、外出等支援させていただいています。	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的には近所の川沿いを歩いたり、買い物を兼ねた散歩として、コンビニまで出かけたりしている。 ・利用者が高齢化して外出に消極的な人が多くなっているが、気候、体調を見ながら外出する機会を作るように心掛けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体力、健康維持や気分転換、ストレス解消の面からも外出の機会を設け、庭での外気浴なども積極的に行うことを期待します。
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	移動パン屋やヤクルト販売が来るので、好きな物を購入していただいています。又、近所のお店や、デパート等で買い物をしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙を書くのが難しくなっているため、電話で話しが出来る環境作りをしています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	掃除は、毎日しています。 季節にちなんだ物をご利用者様と一緒に作成したり、行事の写真をフロアに飾っています。	<ul style="list-style-type: none"> ・リビングの一面はガラス戸になっており、居ながらにして外の景色を望め、四季を感じることができる。 ・食事以外は好きな場所で寛ぎ、会話や昼寝を楽しむ人もいる。 ・室温は居室と温度差がないように職員がこまめにチェックしている。 	・天気が良いときは気分転換を兼ねて日中一回、窓を全開して換気することを習慣づけることを期待します。
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアにソファを置いています。 又、食事以外の時間は席は特に決めず、他ご利用者様と共有出来る空間作りをしています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	愛着のある家具や使い慣れた生活用品を配置し、安心、安全に生活していただけるようにしています。	<ul style="list-style-type: none"> ・居室はどの部屋は明るく、エアコン、クローゼット、小ダンス、カーテン、洗面台が設置されている。 ・馴染みの生活用品を持ち込んで居心地良い居室にしている。 ・転倒危惧のある人は転倒予防のマットを置き安全を確保している。 	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全を第一に考え、その時に応じて工夫をし配置替えをしています。		

事業所名	グループホームみんなの家・横浜上瀬谷
ユニット名	2 U

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「笑顔・気配り・安心」を理念とし会議等で確認し業務に反映できるように努めている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入している。 ホームで行事を開催する際は、チラシ等作成し近隣住民に配布している。 七夕で使用している笹は、近所の方からいただいている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ご利用者様と散歩に出掛けた時は、挨拶を必ずしている。 ホームに気兼ねなく立ち寄れるような環境作りに努めています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回会議を開催している。地域との関わりが難しい所もあり、意見交換をさせていただいている。 その結果、今年は約4年ぶりに子供神輿がホームに来ました。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	区役所や地域包括に、ご利用者様のご相談等させていただく事があります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束ゼロ推進を掲示しています。 会社にて研修を行っています。又、ホーム内の会議にて勉強会を開催しています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	会社にて研修を行っています。又、ホーム内の会議にて勉強会を開催しています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	勉強会を行っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	説明時その都度確認をさせていただきながら契約を行っています。又、入居後も疑問等あればその都度対応させていただいています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	2ヶ月に1回の家族会やご面会の際、意見や要望を伺っています。又、玄関に意見箱を設置しています。対応出来る事については、迅速に対応させていただいています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議や個人面談を行い意見等を聞き、みんなで一緒に考え解決するように努めています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	面談をし管理者は面談結果を代表者に報告し給料に反映させています。ご利用者様の重度化もあり業務の見直しを行う等環境整備を行っています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修に参加出来るように勤務調整を行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	同法人との交流で情報交換をしています。又、同業者の主催する研修等にも参加出来るようにしています。管理者は、瀬谷区にある地域密着型サービス事業所連絡会に年4回参加している。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前事前調査でご自宅等に訪問し困っている事、不安な事等を聞き取り安心して過ごせるよう関係作りに努めています。個々の要望に可能な限り応えるようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	何かあればいつでもご連絡をいただけるように伝えています。又、必要に応じ話し合いの場を設けています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	今一番必要としている支援に対しお話しを伺い、サービスが必要な場合には、できるだけ支援させていただきます。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	安心して生活ができる環境作りを行い、ご利用者の気持ち・意思を尊重し自然体で生活ができる環境作りに努めています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	手紙や電話、面会等でお互いの情報を共有しホームでのイベント等に参加していただいている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様の了解があればご面会にきていただけるようお伝えしています。又、ご希望があれば電話で話したり手紙を書く等、できる環境を作っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	行事やレクリエーションを行ったり、みんなでできる事を提供したりし関わり合える環境作りに努めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了時でも、必要に応じ今後の生活に必要な情報提供や相談を受けたりしています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	会話の中から思いを引き出し、希望・意思を把握するようにしています。その後、ご家族様とご利用者様との話し合いの場を設けています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前事前調査での聞き取りや関わりの中で、情報を伺い職員と共有しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活記録、健康記録等ご利用者様の状態を把握し、一人一人のペースに合った生活環境作りをしています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族様とご利用者様のご意向を伺い、職員とカンファレンス開催後、介護計画書を作成しています。必要時、主治医、看護婦、薬剤師等と話しをしています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ご利用者様個人の申し送りを作成し、職員同士が共有し反映させています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族様やご利用者様からの希望や要望等に対し、できる限り対応し外出等の個別対応も行っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	自治会に加入しています。 地域で生活しているボランティアや理美容、移動販売の訪問が定期的にあります。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご家族様にご希望されている医療機関へ受診される方もいます。 又、ご利用者様の状況に合った医療機関での診察を支援しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携看護師が週1回勤務され、ご利用者様の状態を把握して下さっている。必要に応じ主治医に連絡を取り相談を下さっています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	早期退院が出来るように医療関係者やご家族様と連絡をまめに取り替えています。退院後も安心して生活をして頂ける様に医療関係者と連携を取り対応出来る体制作りを努めています		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に説明をし、ご家族様の希望を伺い、医療、職員、ご家族様とひとつのチームとなり支援しています		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルを基に対応。 地域の消防署の協力の元、応急救護の訓練を行っています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回避難訓練を実施しています。その内1回は、夜間想定避難訓練とし、地域の方や自治会の方に参加していただき連携をとれる体制作りをしています。その他消防署の方と救急要請時対応訓練をしています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	生活歴、既往歴に配慮し、ご利用者様のペースに合わせた声掛けを心掛けています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご利用者様が、何を望んでいるかを日々の関わりの中から引き出し自己決定出来るよう支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者様の生活スタイルを大切にし、伝えやすい環境を作っています。可能な限りご利用者様のペースに対応出来る勤務体制を作成しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	月1回、地域の美容室の方に来ていただき、ご利用者様のご希望を伝え散髪をしていただいています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の盛り付け、片付け等を職員と一緒にこなしています。又、職員と一緒に食事をします。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人一人に合った食事形態を提供しています。食事量、水分量は1日を通じて確認をしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	歯科医師、歯科衛生士の指導のもと、毎食後の口腔ケアの声掛けをしています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンを把握し、ご利用者様一人一人に合った排泄介助をしています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分量、食事量を把握し、適度な運動の声掛け等行っています。医療関係者に報告し指示をいただいています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	ご利用者様のご希望を出来るだけ考慮し入浴をして頂いています。又、入浴を拒む方に対しては、安心して入浴していただける様工夫をしています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人一人の生活リズムを大切に、眠れない場合は、一緒に過ごしたりし安心出来る環境作りをしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ご利用様が、どんな薬を服用しているかすぐに把握出来るように薬剤情報のファイルを作成しています。又、薬剤師が薬を届けて下さる時は、指導を受けています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	無理のない範囲で職員と共に出来る事を行っていただいています。又、イベント等の企画をし楽しみを持つ事、気分転換が出来るようにしていただいています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご利用様の体調等を確認の上、外出等支援させていただいています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	移動パン屋やヤクルト販売が来るので、好きな物を購入していただいています。又、近所のお店や、デパート等で買い物をしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙を書くのが難しくなっているため、電話で話しが出来る環境作りをしています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	掃除は、毎日しています。 季節にちなんだ物をご利用者様と一緒に作成したり、行事の写真をフロアに飾っています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアにソファを置いています。 又、食事以外の時間は席は特に決めず、他ご利用者様と共有出来る空間作りをしています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	愛着のある家具や使い慣れた生活用品を配置し、安心、安全に生活していただけるようにしています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全を第一に考え、その時に応じて工夫をし配置替えをしています。		

目標達成計画

事業所名 グループホームみんなの家
横浜上瀬谷

作成日 平成26年12月22日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	35	<ul style="list-style-type: none"> 地震を想定した避難訓練を行っていない為検討をする。 備蓄リストの作成が出来ていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 地震を想定した避難訓練の実施 備蓄リストの作成 	<ul style="list-style-type: none"> 地区消防署と相談をし日程を決める 備蓄リストは、指摘後作成をしました。 	6ヶ月
2	49 52	<ul style="list-style-type: none"> 外出支援が中々出来ない。 居室やフロアの換気が中々出来ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 散歩や買い物等の外出の機会を作る。散歩 まめに換気を行なっていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ご利用様と相談をし散歩や外出の機会を作る。 スタッフに周知し換気を行う。 	1ヶ月
3					
4					
5					